

第128回 日商簿記検定試験 1級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

〔丸数字は予想配点、合計 25 点〕

第 1 問

問 1

製品別実際損益計算書

(単位：千円)

	製品 X	製品 Y	合計
売上高	(㊟ 1,014,000)	(620,000)	(1,634,000)
標準変動費：			
製造原価	(650,000)	(㊟ 372,000)	(1,022,000)
販売費	(61,360)	(24,800)	(㊟ 86,160)
計	(711,360)	(396,800)	(1,108,160)
標準貢献利益	(㊟ 302,640)	(223,200)	(525,840)
標準変動費差異	(5,240)	(㊟ 27,000)	(32,240)
実際貢献利益	(307,880)	(250,200)	(558,080)
固定費			(㊟ 488,080)
営業利益			(70,000)

問 2

差異分析表

(単位：千円)

	製品 X	製品 Y	合計
販売価格差異	㊟ 78,000 (有利、不利)	124,000 (有利、不利)	46,000 (有利、不利)
売上高販売数量差異	36,000 (有利、不利)	㊟ 36,000 (有利、不利)	0 (有利、不利)
変動費販売数量差異	㊟ 27,360 (有利、不利)	19,200 (有利、不利)	8,160 (有利、不利)
標準変動費差異	? (有利、不利)	? (有利、不利)	? (有利、不利)
固定費差異	—	—	㊟ 8,080 (有利、不利)
合計	—	—	㊟ 30,000 (有利、不利)

(注) ()内の「有利」または「不利」を○で囲みなさい。差異が0の場合には○で囲む必要はない。

第 2 問

	製品 X (100個)	製品 Y (50個)	合計
顧客 A への売上原価	㊟ 370,500円	㊟ 270,000円	640,500円